

取組名称	使い捨てない！！メンテナンスサービスもある『プラなし天然素材の歯ブラシ』		団体設立後の経過年数	3年目	
応募取組主体名称	株式会社 プラス	活動地域	大阪など	応募取組の活動年数	6年目
取組主体の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 / <input type="checkbox"/> 学校 / <input type="checkbox"/> NPO・任意団体 / <input type="checkbox"/> 自治体 / <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ / <input type="checkbox"/> 個人 / <input type="checkbox"/> ユース部門 (概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください) / <input type="checkbox"/> その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	<input checked="" type="checkbox"/> サステナブルデザイン賞 / <input type="checkbox"/> 子どもエンパワーメント賞 / <input type="checkbox"/> 環境と福祉賞 / <input type="checkbox"/> 環境地域ブランディング賞 / <input type="checkbox"/> 環境ひとりづくり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境社会イノベーション賞 / <input type="checkbox"/> 地球と人への想いやり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> SDGsビジネス賞 / <input type="checkbox"/> EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨
<p>「2050年カーボンニュートラル宣言」「大阪ブルーオーシャンビジョン」など環境への取組は今を生きる私たちの責任です。また歯ブラシは「プラスチック資源循環促進法」の削減対象12品目の一つに入るほど、その消費は大問題です。私たちは遡ること2018年から国内製造で100%プラスチックフリー天然素材歯ブラシの開発を始め、2021年に完成し販売開始、2022年9月より同社製歯ブラシのメンテナンスサービスを始め「つくる責任」に取組んでいます。</p>
実績の要旨
<p>2018年、竹製歯ブラシと出会うも日本製が無いのを知り国内で天然素材の歯ブラシを作ることを決意。今は大量生産大量消費のプラスチック製しか作れない現状も理解し、1960年代の機械と70歳代の女性職人との出会いから量産が実現。柄は家具製造で発生するブナの「端材」を活用し毛は食肉用として育てられた生命の「副産物」馬毛を活用しています。木の保護として日本古来の自然塗料「荏油」を採用し天然素材に拘りました。2021年クラウドファンディングで共感を得てこれまで約2000本を出荷。2022年9月にメンテナンスを開始し10名以上の実績があります。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	100%プラスチックフリーを実現し海洋プラスチック問題解決や、端材と副産物を活用する事によるCO2排出量の削減の一助になると考えます。
	社会・経済への貢献	日本製の天然素材歯ブラシを探し求めていたお客様や店舗へ供給できている。歯ブラシに対する選択肢を増やした。地域小学校の社会見学対応。
	地域資源の活用	歯ブラシ製造は地域の地場産業の一つです。職人の高齢化と海外製造が進み廃業をやむなくなった地元企業の人材と機械を活用している。
	普及・汎用性	プラスチック資源循環促進法施行や環境意識の高まりから脱プラ生活の足がかりや、エシカル雑貨店、高級ホテルアメニティの商談もあります。
	革新・ユニーク性	歯ブラシのメンテナンスサービスを提案し、モノを大切に作る時代へ小さな会社から社会に大きなインパクトを与えた。
	継続性	これからの需要増を見据えて技術の継承と機械の開発を地元地域の企業と取り組み、属人可から標準化へ開発を進めている。

展望の要旨	いのち輝く未来社会のデザイン「大阪・関西万博」に出展し、歯ブラシを通じ日本の『もったいない文化』を世界の『未来社会のデザイン』へ提案する。
-------	---